

薬事委員会 WG 記録

日 時：2022 年 7 月 5 日(月) 17 時 30 分

場 所：薬剤部・カンファレンス室

出席者：安田、白上、金森、諏訪、吉倉、森田、早崎、飯沼、松本

薬局等出席者：手塚、丹羽、井口[岐阜薬科大学附属]、野村[V-drug]、櫻井、山崎

記録の承認

2022 年 6 月 6 日開催の薬事委員会 WG の記録が承認された。

協議事項

1. 院外処方新規申請品目の採用可否について

新たに申請された 12 品目(カログラ錠 120mg、アディノベイト静注用キット 500・同 1000・同 2000・同 3000、ビレーズトリエアロスフィア 120 吸入、ケレンディア錠 10mg・同 20mg、レイボー錠 50mg・同 100mg、タブネオスカプセル 10mg、ジエノゲスト錠 0.5mg「モチダ」)について協議の結果、採用を承認した。

2. 院外処方品目の採用中止について

処方量の減少と同効薬の採用に基づき、2 品目(イミグラン錠 50mg、ディナゲスト錠 0.5mg)を採用中止とした。

3. 院内緊急購入申請品目の使用適否について

新たに申請された 3 品目(ウィフガート点滴静注 400mg、イズカーゴ点滴静注用 10mg、メルカゾール注 10mg)について、使用用途や必要性について確認した。

4. フォーミュラリーの運用について

経口ペニシリン系・セファロsporin系抗菌薬のフォーミュラリーについて、アモキシシリン、セファレキシン、セファクロルの 3 成分の使用推進を主として、アモキシシリンカプセル 250mg「トーワ」、サワシリン細粒 10%、ケフレックスカプセル 250mg、セファクロルカプセル 250mg「サワイ」、セファクロル細粒小児用 10%「サワイ」の 5 薬剤を病院推奨薬として提案した。提案に至った経緯(安全管理、処方状況、適応・安全性の比較)と前回 WG からの変更点について AST 医師、薬剤師から説明した。次回の薬事委員会で運用実施に向けて協議することとした。

次回薬事委員会 WG の開催日を、2022 年 8 月 1 日(月)とした。